

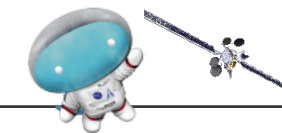
証券コード：9412

株式会社スカパーJSATホールディングス



2026年3月期 第3四半期 決算説明会

2026年2月5日開催



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

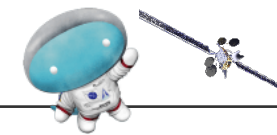
- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制等に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や
取扱い及びサイバーセキュリティに
関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による
事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下
のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下
に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク



第3四半期累計にて、前年同期比 増収増益
営業利益・連結純利益は20%超の増益

*以下、「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」を「連結純利益」と記載しております。

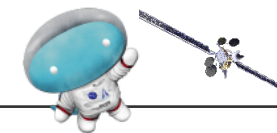
通期の営業利益を350億円、連結純利益を230億円に上方修正
年間配当予想を4円増配し42円に引き上げ

防衛省「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」落札



2026年 3 月期 第 3 四半期連結業績概要

連結業績概況



- 営業収益は宇宙事業が前年を上回るペースで堅調に推移し、増収
- 営業利益・連結純利益は20%超の増益

(億円)	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	増減 (増減率)
営業収益	919	933	+15 (+1.6%)
営業利益	213	265	+52 (+24.6%)
連結純利益	144	176	+32 (+22.4%)
EBITDA*	366	383	+17 (+4.7%)

*EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- 国内衛星通信分野やスペースインテリジェンス事業が計画通り進捗し、増収増益
- 営業利益176億円・セグメント利益119億円と、前年同期比10%増益

(億円)	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	増減 (増減率)	増減要因
営業収益*	472	505	+34 (+7.2%)	(営業収益+34) 国内衛星通信分野+25 (JAXA向け地上局サービス等) スペースインテリジェンス事業+12
営業費用	310	329	+19 (+6.1%)	グローバル・モバイル分野+2 為替影響△3
営業利益*	161	176	+15 (+9.3%)	(営業費用+19) 増収に伴う原価増+27 Orbital Lasers開発費用+3
セグメント利益**	108	119	+11 (+9.9%)	減価償却費△13

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

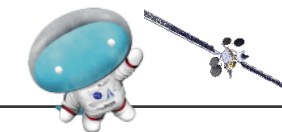
■ 上期に引き続き放送事業の効率化が奏功し、 営業利益95億円・セグメント利益61億円と大幅増益

(億円)	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	増減 (増減率)	増減要因
営業収益*	496	478	△18 (△3.7%)	(営業収益△18) 視聴料・業務手数料・基本料収入△18 カスタマーセンター子会社の持分法適用会社化△7 FTTH関連収入* ¹ + 8 * ¹ テレビ接続工事収入を含む
営業費用	439	383	△56 (△12.7%)	(営業費用△56) 今期の一過性要因△24 「ブンデスリーガ」放送・配信終了△11 カスタマーセンター子会社の持分法適用会社化△7 前期施策(チューナー交換)の反動△6
営業利益*	57	95	+38 (+65.6%)	減価償却費△13 広告宣伝・販促関連費(デジタルシフト等)△10
セグメント利益**	40	61	+21 (+51.3%)	(その他) コネクテッドTV事業化検証終了に伴う減損△8 (セグメント利益影響額△5)

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

2026年3月期の連結業績予想及び配当予想の上方修正



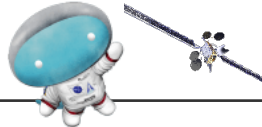
■ 営業利益は350億円（期初予想比+42億円）、連結純利益は230億円（+20億円）に上方修正

（億円）	2024年度 実績	2025年度 期初予想 （2025年4月25日公表）	2025年度 修正予想	予想増減 （増減率）
営業収益	1,237	1,276	1,276	—
営業利益	275	308	350	+42 （+13.6%）
連結純利益	191	210	230	+20 （+9.5%）

■ 年間配当金の予想は、4円増配し42円に修正

（円）	2024年度 実績	2025年度 期初予想 （2025年4月25日公表）	2025年度 修正予想	予想増減
年間配当金	27	38	42	+4

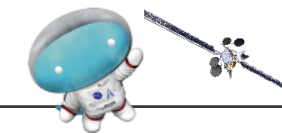
2026年3月期の連結業績予想の上方修正（セグメント別内訳）



■ メディア事業のオペレーション最適化等が計画を上回って進捗し、上方修正

(億円)		2024年度 実績	2025年度 期初予想 <small>(2025年4月25日公表)</small>	2025年度 修正予想	予想増減
営業収益		1,237	1,276	1,276	—
	宇宙事業	647	700	700	—
	メディア事業	655	641	641	—
営業利益		275	308	350	+42
	宇宙事業	220	233	239	+6
	メディア事業	63	82	118	+36
連結純利益		191	210	230	+20
	宇宙事業	152	160	160	—
	メディア事業	44	60	75	+15

連結キャッシュ・フロー、連結財政状態



- 連結キャッシュ・フローは年度見込に対して順調に進捗
- 現金及び現金同等物・有利子負債は計画通り推移
- 長期発行体格付が「A+（安定的）」へ格上げ

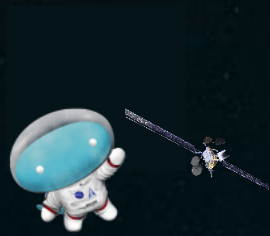
連結キャッシュ・フロー

(億円)	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	2025年度 期初予想
営業活動	366	432	470
投資活動	△183	△578	△680
フリー・ キャッシュ・フロー*	183	△146	△210
財務活動	△158	△317	△330

*営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

連結財政状態

(億円)	2024年度 末	2025年度 3Q	2025年度 期初予想
資産	4,034	3,968	3,920
内、現金及び現金同等物	1,145	659	610
負債	1,192	1,006	960
内、有利子負債	552	336	320
株主資本	2,732	2,810	2,840



宇宙事業

■ 2026年1月、特別目的会社(株)トライサット・コンステレーション設立

設立： 2026年1月26日
所在地： 東京都新宿区
資本金： 4.9億円
事業内容： 衛星コンステレーションの整備・運営等事業における画像データ取得
本事業における専用地上施設の運用等ほか

■ 本事業を通じて、スタンド・オフ防衛能力の実効性確保に貢献

衛星コンステレーションの整備・運営等事業の実施体制

防衛省

事業契約（2月予定）

(株)トライサット・コンステレーション

45%出資

45%出資

10%出資

株主



スカパーJSAT

三菱電機

三井物産

協力企業

QPS研究所

Synspective

アクセルスペース

三井物産
エアロスペース

- 重要インフラを担う顧客との長期契約更新（10年）を着実に獲得
- 「止めてはいけない通信」を支え続ける信頼と役割

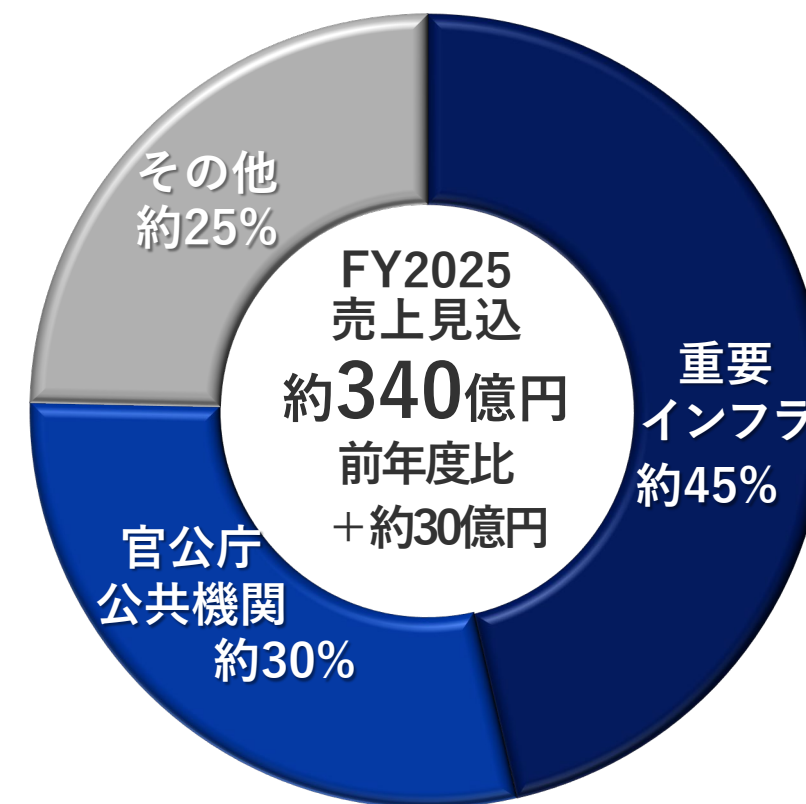
収益基盤強化

主たるサービス 
防災プラットフォームサービス
EsBird
エスバード

顧客： 電力会社、交通インフラ会社他
用途： 発電所等の運用監視、交通システムの制御、BCP回線など
特長： 高品質な専用線通信
国内拠点での衛星管制・サービス監視
24時間365日、日本語での即時対応サポート
国内ベンダーと連携した長期保守体制



国内衛星通信ユーザ内訳



■ Space Compass 宇宙戦略基金（第二期）の補助事業に採択

- GEOの光データリレーサービス実現に向け加速
- 情報即時性が求められる安全保障分野等での優位性を確立

「衛星光通信を活用したデータ中継サービスの実現に向けた研究開発・実証」

支援上限：235億円（打上げ・軌道上実証費用を含む）

※今後ステージゲート審査等による変動し得る数字

支援期間：5年間

※当初の補助事業期間は、補助金交付決定日から最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日まで

■ NASA月探査計画「アルテミスII」の地上局に選定

- 近地球追跡ネットワークサービス「JSAT Space Line」の地上局を活用
- 地上～シスルナ空間に至るインフラの整備・高度化を通じて宇宙利用拡大に貢献





メディア事業

長期契約・高ARPUが期待できる主力商品の販促に注力

基本プラン

対象：多様な嗜好を持つ視聴者

強み：「見たいものが、なんかある。」(11ジャンル 50チャンネル)

施策：複数台無料、視聴料割引キャンペーン

3Qのキャンペーンが奏功し、過去最高の74.9万件に

スポーツ関連商品



対象：スポーツファン

強み：全試合生中継

施策：プロ野球・F1 開幕時期の販促強化



新CMキャラクターに多部未華子さんを起用



Photo:Getty Images(昨シーズン開幕戦オーストラリア)

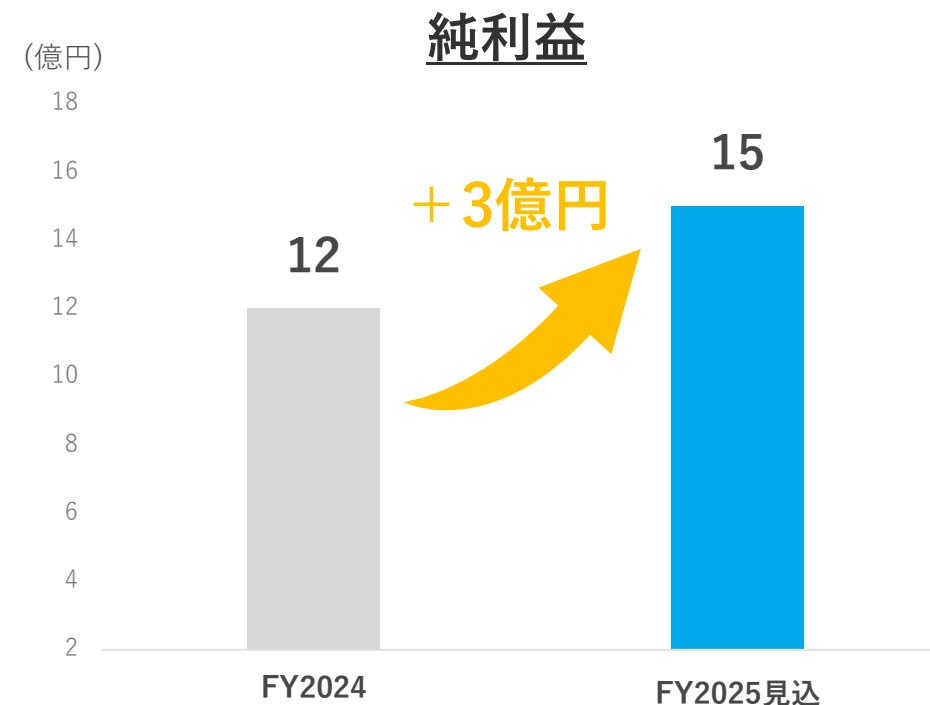
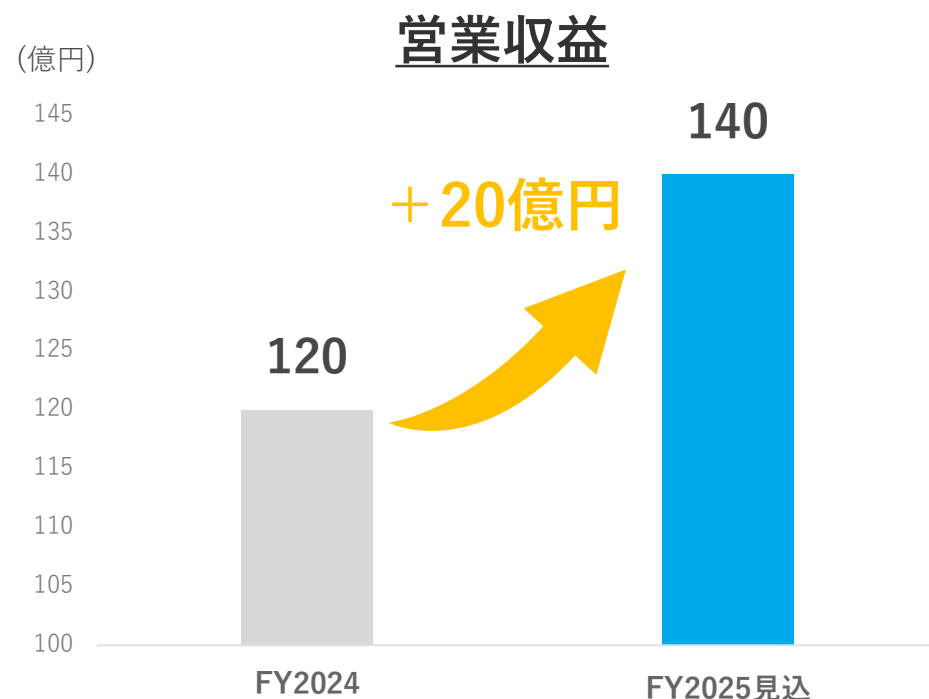
■ 光再送信サービス

- ・ 2025年12月 料金改定後も純増、年度末目標295.5万件を達成見込（前年度末比＋10万件）

■ CATV事業者向けパススルーサービス

- ・ 導入局は年度末75局見込（前年度末比＋15局）

光アライアンス事業



未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

未知を、 価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT

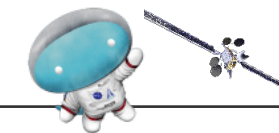


参考資料

下記資料については[リンク先（下線）](#)よりご覧いただけます

- ・ [スカパーJSATガイド](#)：経営戦略や財務・業績、事業概要等
- ・ [決算短信・決算短信補足資料、財務ハイライト（Excel）](#)
- ・ [統合報告書2025](#)
- ・ [IRイベント資料](#)





- 開示要望に応じた情報開示拡充（安全保障、グローバル・モバイル、アニメIP等）
- 管理職向けにROIC研修を実施 *今年度より社内管理指標として導入

【フィードバック体制】

アナリスト・投資家・株主

社長・CFO、広報IR部

取締役会
年4回 IR活動報告

企業価値向上に向けた対応

FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	
			2025年4月～12月	2026年1月～3月（予定）
個別面談 112件	個別面談 188件	個別面談 230件	個別面談 238件 ↳代表取締役社長対応：10件 ↳CFO対応：12件 【IR施策】 海外ロードショー 1回（欧州） 海外投資家向け証券会社 カンファレンス 1回 証券会社主催スモールMTG 4回	海外ロードショー： ・2回（米国） ・1回（アジア） 国内外投資家向け証券会社 カンファレンス 4回 IR DAY 1回 個人投資家向け会社説明会 2回

プレゼンス向上の取り組み

日本経済新聞・朝刊に広告を連載
（全6回） <https://www.skyperfectjsat.co.jp/brand/michikachi/articles/terry/index.html>

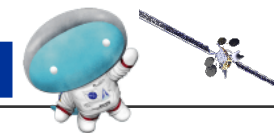


サステナビリティ施策の紹介
ラジオ NIKKEI「QUICK presents ESG フロントライン」



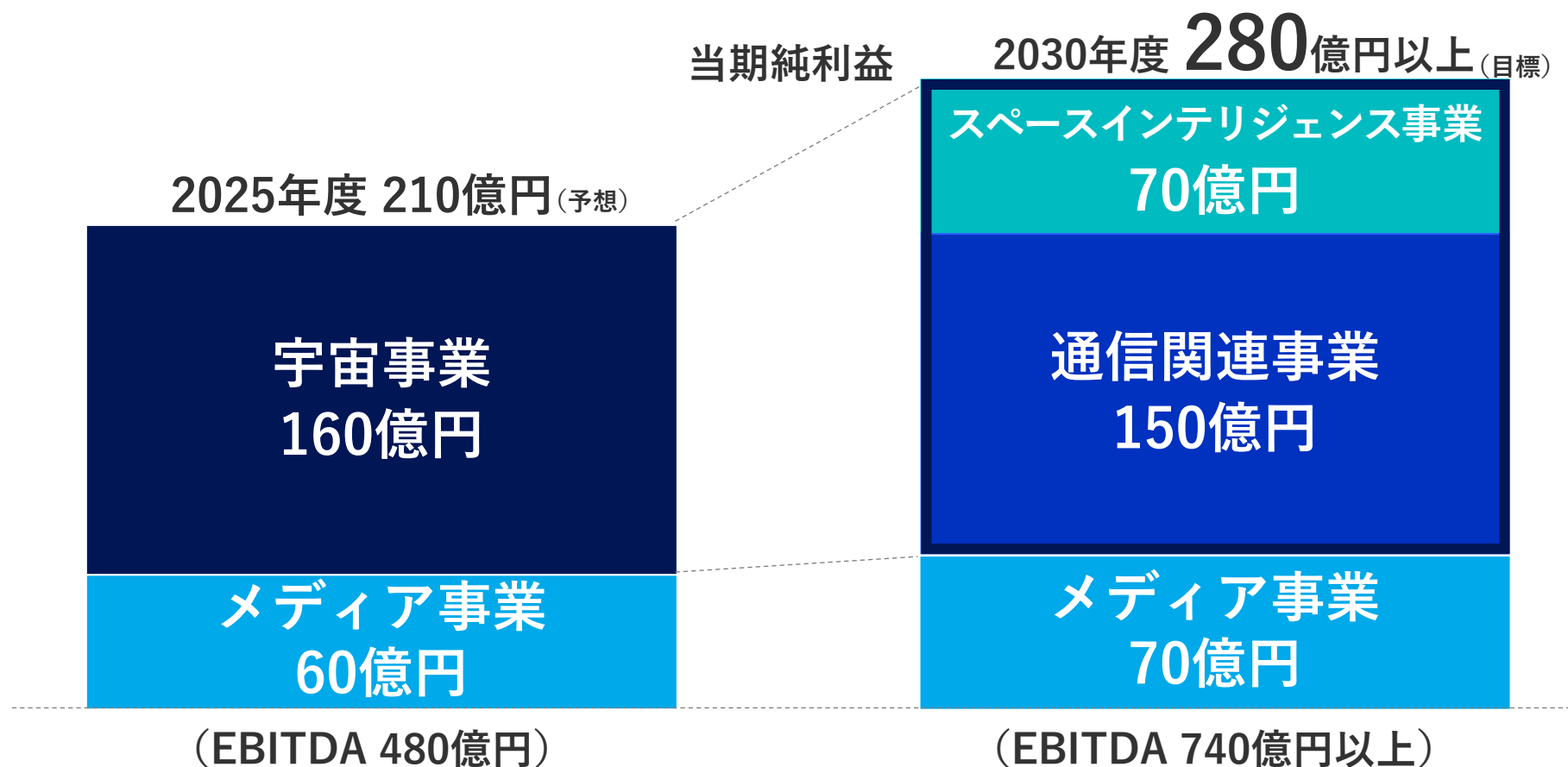
2026年1月5日放送
<https://www.radionikkei.jp/esg/20260105.html>

2026年1月19日放送
<https://www.radionikkei.jp/esg/20260119.html>

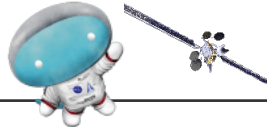


当期純利益280億円以上を目指す

- 宇宙事業はスペースインテリジェンス事業を成長ドライバーとし大幅増益
- メディア事業は放送・配信事業での収益基盤の強化に加え、光アライアンス事業での上乗せを図る



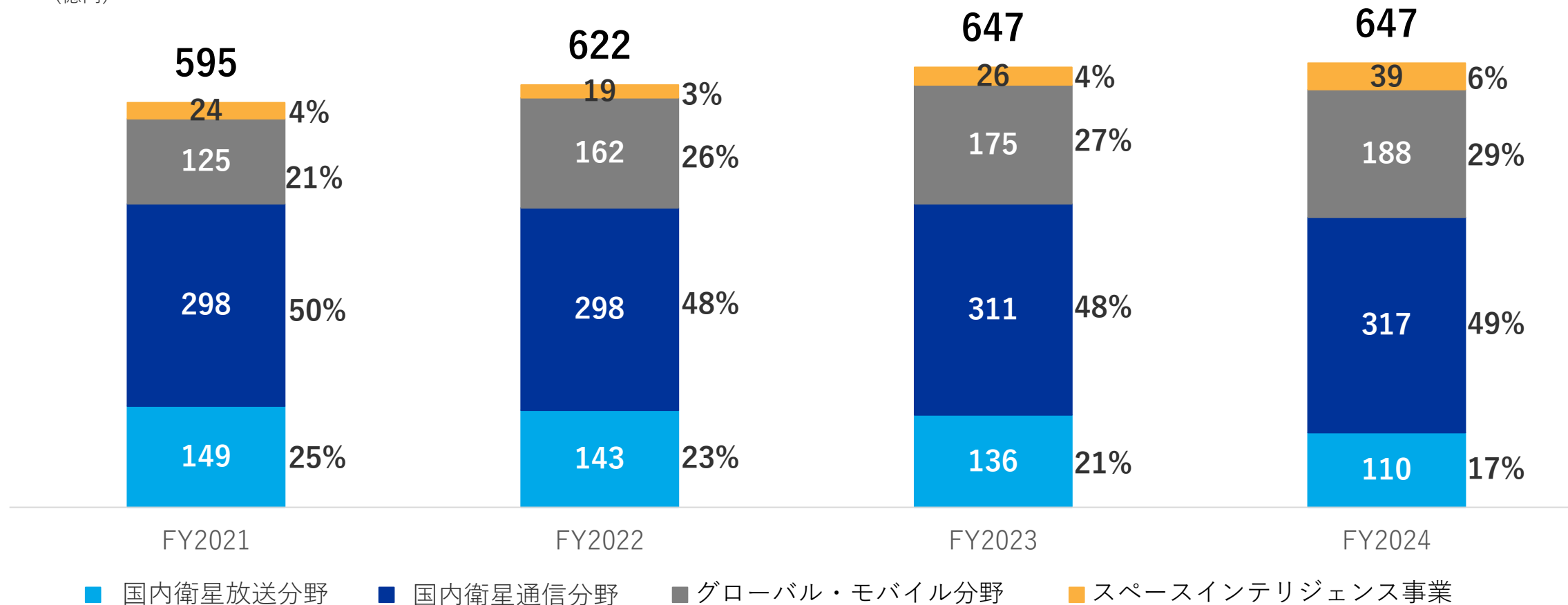
セグメント別前年同期比較



(億円)		FY2025 3Q (前年同期比)	FY2025 3Q累計 (前年同期比)	主な増減要因	3Q	3Q累計
宇宙事業	営業収益*	184 (+26)	505 (+34)	国内衛星通信分野	+12	+25
				放送トラポン収入	(1)	(2)
				グローバル・モバイル分野	+1	(1)
				スペースインテリジェンス分野	+14	+12
	営業費用	124 (+22)	329 (+19)	増収に伴う原価増	+19	+27
				減価償却費	(1)	(13)
				Orbital Lasers費用	+1	+3
	営業利益*	59 (+4)	176 (+15)			
	セグメント利益**	35 (+2)	119 (+11)			
メディア事業	営業収益*	157 (△10)	478 (△18)	視聴料・業務手数料・基本料収入	(6)	(18)
				FTTH収入	+4	+5
	営業費用	121 (△25)	383 (△56)	広告宣伝・販促関連費	(3)	(16)
				減価償却費	(4)	(13)
				カスタマーセンター子会社の持分法適用会社化 ((株) スカパー・カスタマーリレーションズ)	(2)	(7)
	営業利益*	36 (+15)	95 (+38)			
	セグメント利益**	25 (+10)	61 (+21)	コネクテッドTV事業化検証終了に伴う減損	-	(8)

*セグメント間の内部取引を含む
**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

(億円)

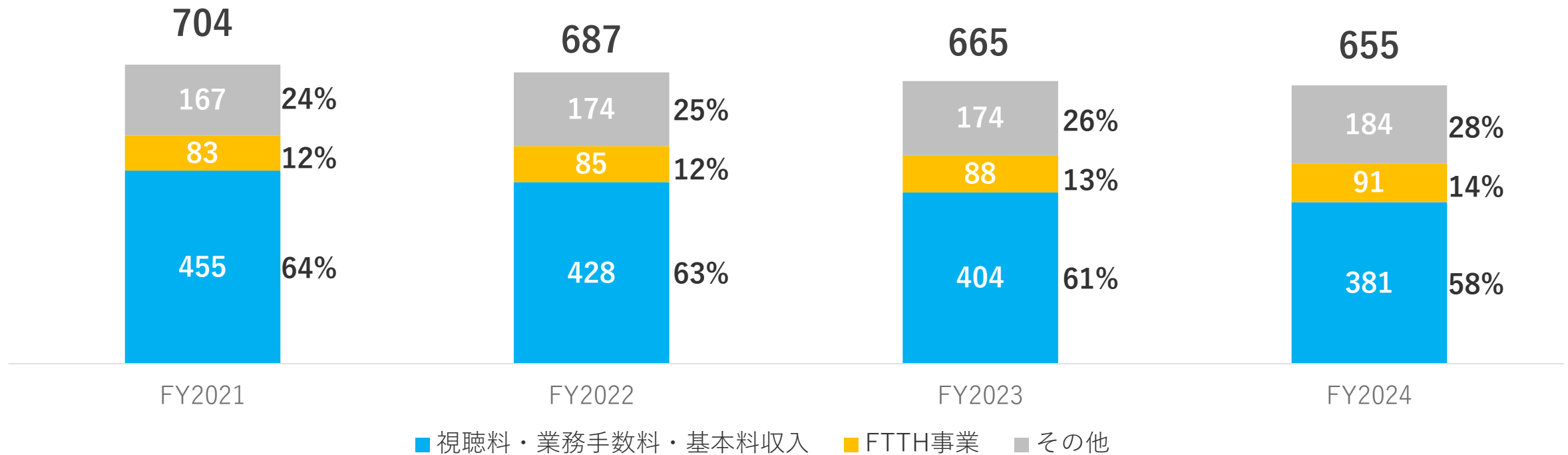


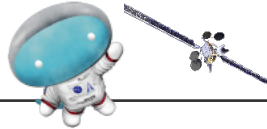
*2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

*2024年度より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

メディア事業 営業収益構成比

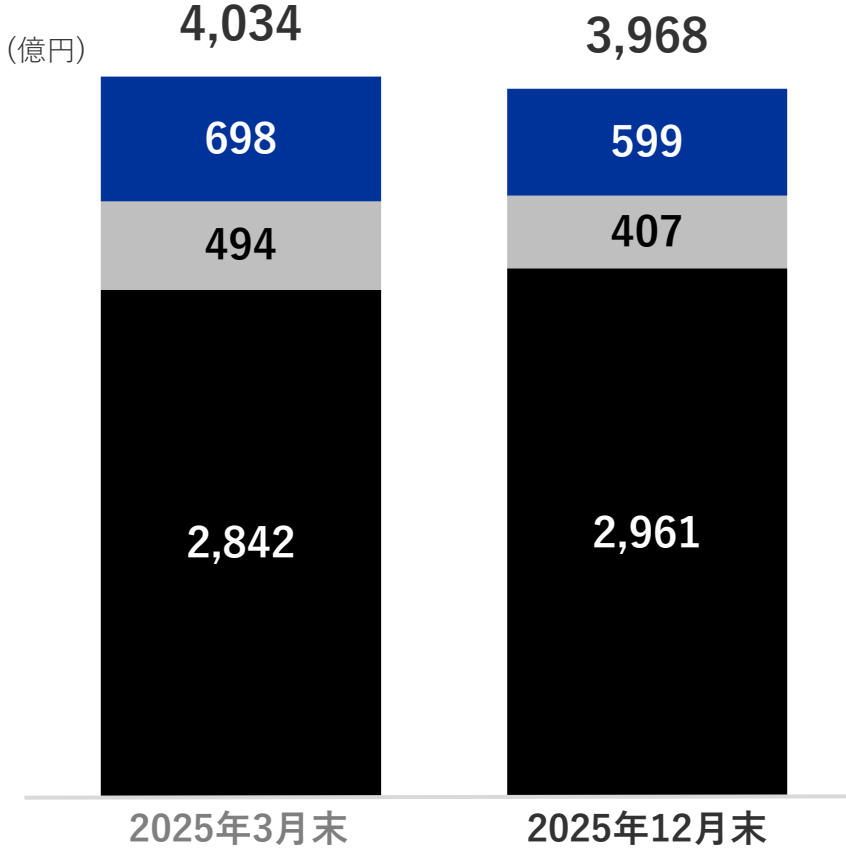
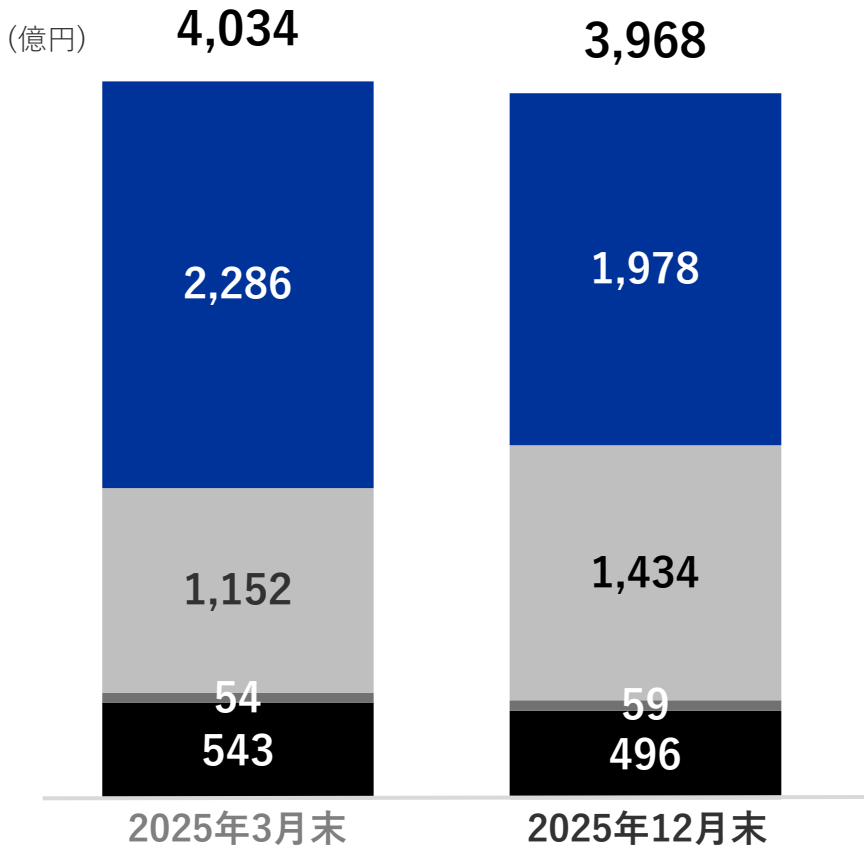
(億円)



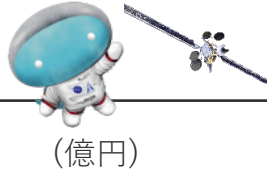


資 産

負債・純資産



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産



		SJC	SPET	川	JMC	連結合計 (その他の連結子会社 含む)
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	衛星基幹放送業務、 衛星一般放送業務等	北米・アジア太平洋 での衛星回線 販売事業	移動体衛星通信 サービス事業	-
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	53.3	-
営業収益	FY2024 3Q累計	833	91	55	44	919
	FY2025 3Q累計	864	84	51	46	933
営業利益	FY2024 3Q累計	181	10	18	8	213
	FY2025 3Q累計	243	9	17	6	265
経常利益	FY2024 3Q累計	195	11	16	8	212
	FY2025 3Q累計	259	9	26	6	269

SJC：スカパーJSAT株式会社

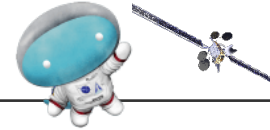
川：JSAT International Inc.

SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント

JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

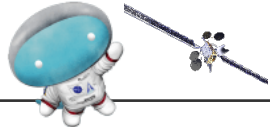
* 2025年6月27日に株式会社スカパー・ブロードキャスティングの臨時株主総会にて解散を決議済み

* 連結子会社であった株式会社スカパー・カスタマーリレーションズの株式を 2025年1月1日付で一部売却し、持分法適用会社化



(億円)

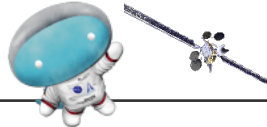
	2024年度 実績	2025年度 3Q累計	2025年度 期初予想
① 設備投資	244	412	550
内訳： 宇宙事業	192	380	500
メディア事業	50	32	50
その他	2	1	0
② 事業投資	76	8	150
① + ② 投資合計	320	420	700



- 今後3年間で投資を加速、株主還元と合わせて約2,500億円をキャッシュアウト
- 営業CFや手元資金の活用に加え、2026年度以降は外部借入により資金を調達

2025～2027年度計画			2025年度計画
IN	OUT 2,200億円		OUT 700億円
営業CF 1,500億円	収益基盤強化 1,400億円	JSAT-31/32、Superbird-9 地上局設備、拠点拡張 放送設備	350億円
	事業の進化 600億円	LEOコンステレーション 光アライアンス	200億円
	新規領域の開拓 200億円	Space Compass スタートアップ投資 CTV	150億円
有利子負債増加 300億円	株主還元 315億円以上*	配当 自己株式取得	100億円*
手元資金の活用 700億円	*支払ベース		*支払ベース
合計 約2,500億円	合計 約2,500億円		合計 約800億円

主要な設備の投資予定金額



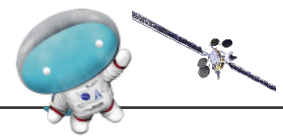
■ 重要な設備の新設（2025年6月17日提出「有価証券報告書」p.51抜粋）

区分 (所在地)	設備の内容	投資予定額（億円）*		資金調達方法	着手年月	完了予定年月
		総額	既支払額			
宇宙設置型光学望遠鏡 (赤道上空の静止軌道上)	光学望遠鏡	80	53	自己資金	2020年7月	2026年上期以降
通信衛星設備Superbird-9 (赤道上空の静止軌道上)	通信衛星	240	164	自己資金	2021年3月	2028年上期
通信衛星設備JSAT-31 (赤道上空の静止軌道上)	通信衛星	500	64	自己資金	2024年5月	2028年下期
通信衛星設備JSAT-32 (赤道上空の静止軌道上)	通信衛星	390	48	自己資金	2025年2月	2027年下期

*投資予定金額の総額のうち、連結会計年度末（FY2024）において為替換算レートの確定していない外貨建投資予定額は、2025年3月末における為替換算レート（1ユーロ=162.03円）で算出

■ その他

低軌道地球観測衛星コンステレーション（10機）	約400億円	2026年～2027年打ち上げ（予定）
-------------------------	--------	---------------------



(億円)

	2024年度 実績	2025年度 3Q累計	2025年度 期初予想
減価償却費	183	115	155
内訳： 宇宙事業	124	82	112
メディア事業	57	31	43
その他	2	2	0

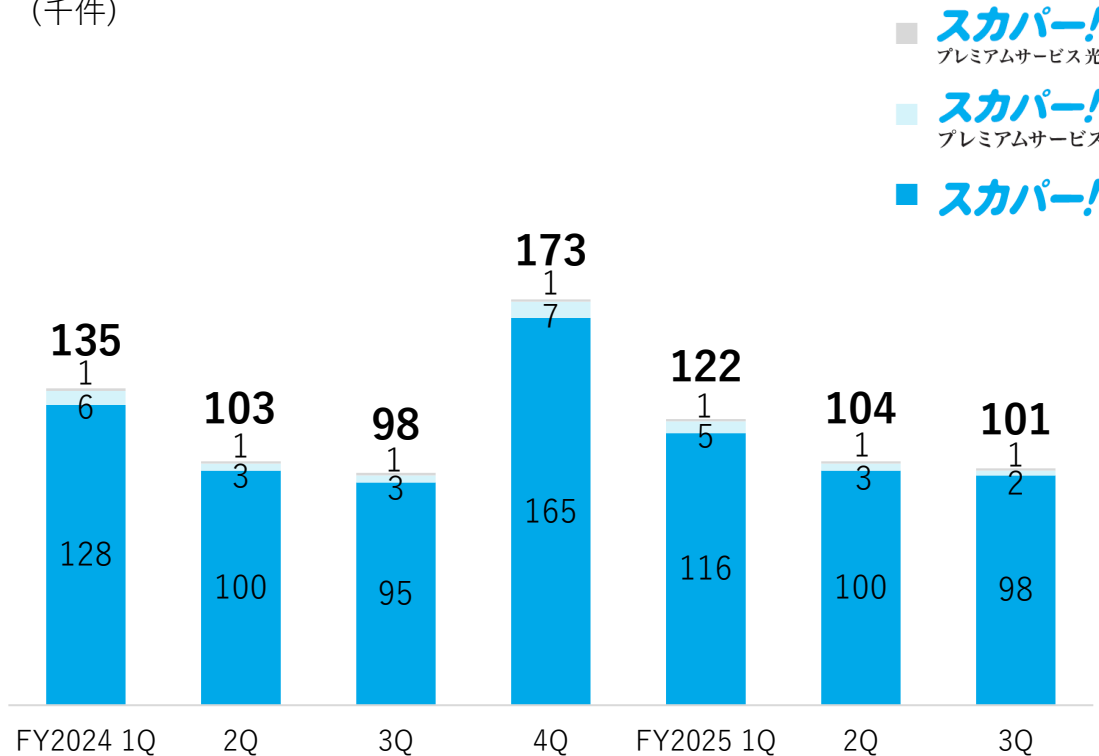
主要指標（メディア事業）



	2024年度 3Q累計	2025年度 3Q累計	2025年度 加入目標
新規（IC数：万件）	33.6	32.7	48.9
純増数（IC数：万件）	△16.3	△17.0	△12.9
（スカパー！）	（△11.7）	（△12.7）	（△7.2）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△4.5）	（△4.1）	（△5.3）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.2）	（△0.3）	（△0.4）
累計加入件数（IC数：万件）	257.8	243.2	247.3
累計契約者数（契約者数：万件）	198.2	185.2	188.7
光再送信サービス接続世帯数（万件）	282.9	294.0	295.5
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,391	3,416	
スカパー！プレミアムサービス	3,519	3,506	-
スカパー！プレミアムサービス光	4,958	4,906	

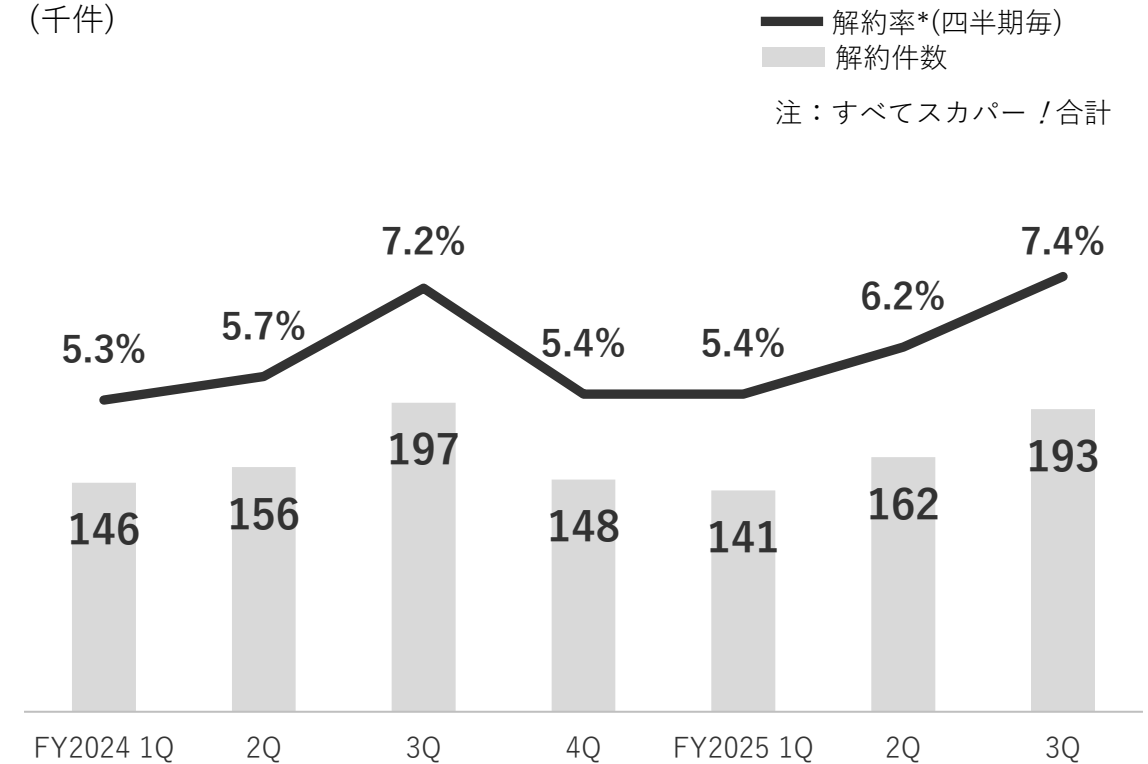
■ 新規加入件数（IC数）

（千件）



■ 解約件数・解約率（IC数）

（千件）

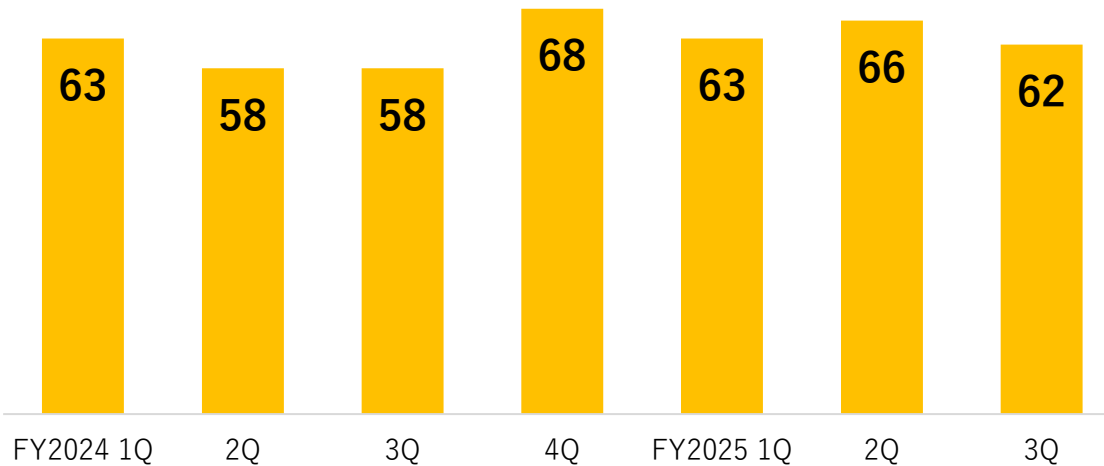


注：すべてスカパー！合計

*各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

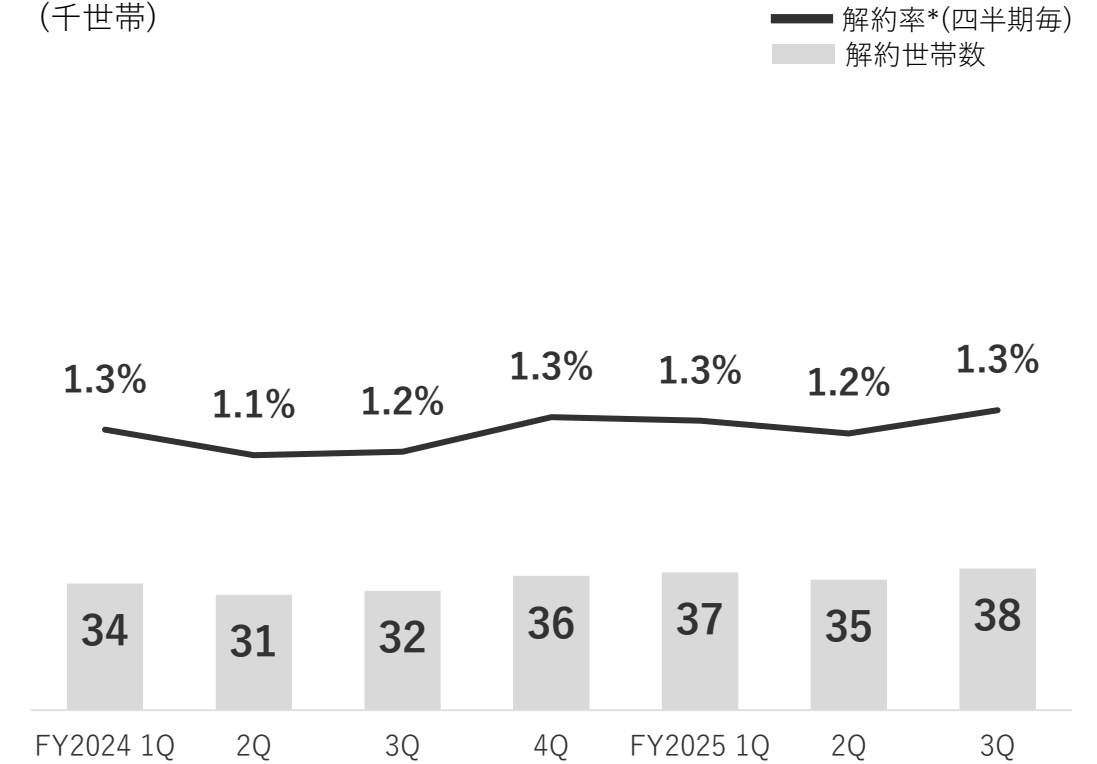
■ 新規接続世帯数

(千世帯)



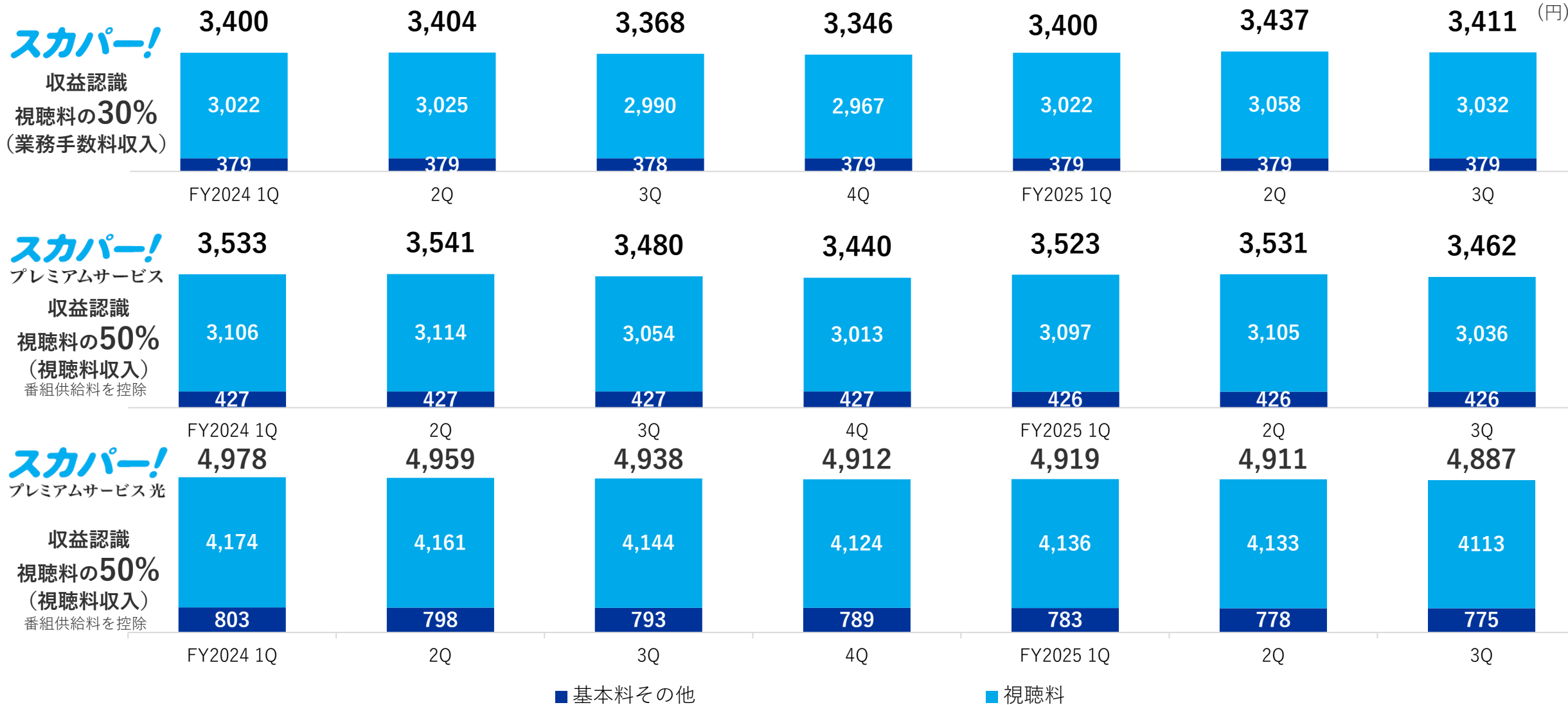
■ 解約世帯数・解約率

(千世帯)



*各期間の解約数の合計を、前年度末の累計で除して算出。

契約者支払単価^{*1}

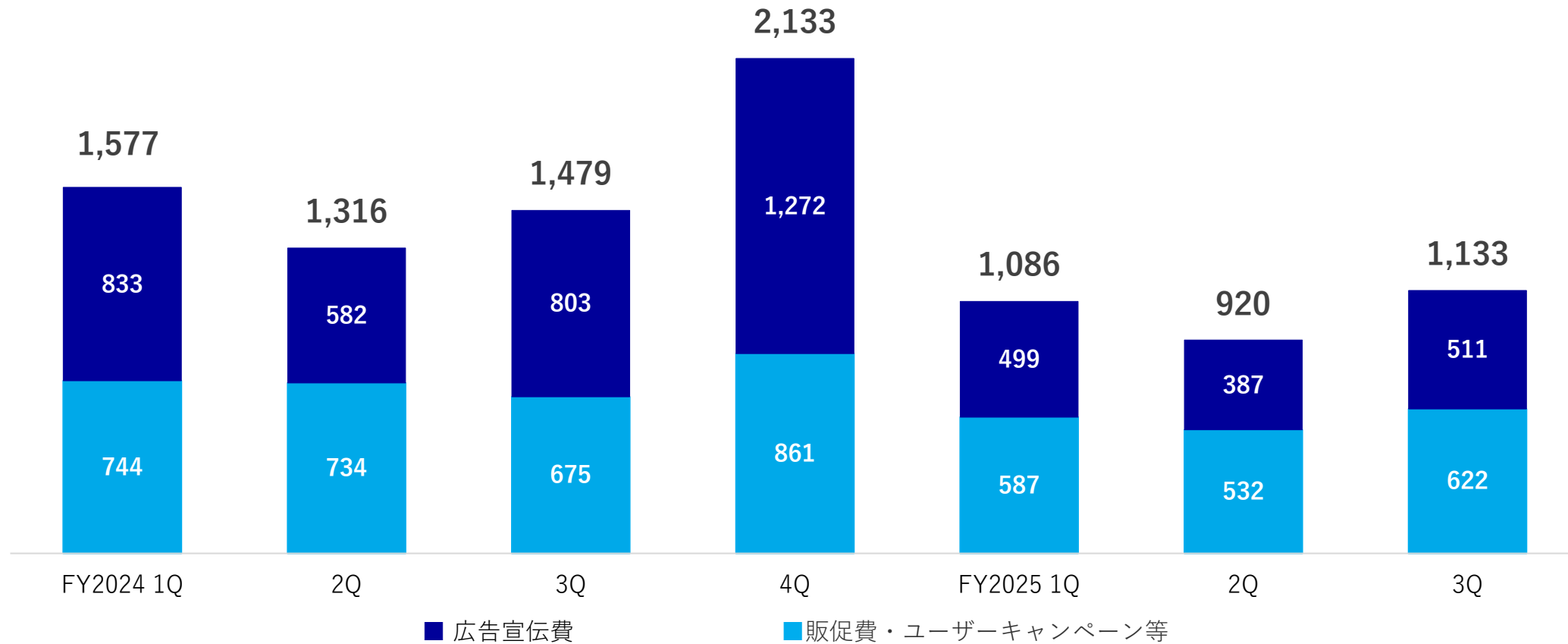


*1 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

*2 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額（SAC）

（百万円）



■ 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用

■ 販促費・ユーザーキャンペーン等：スカパー！加入促進のための費用、販売インセンティブ、カスタマーセンター運営費用

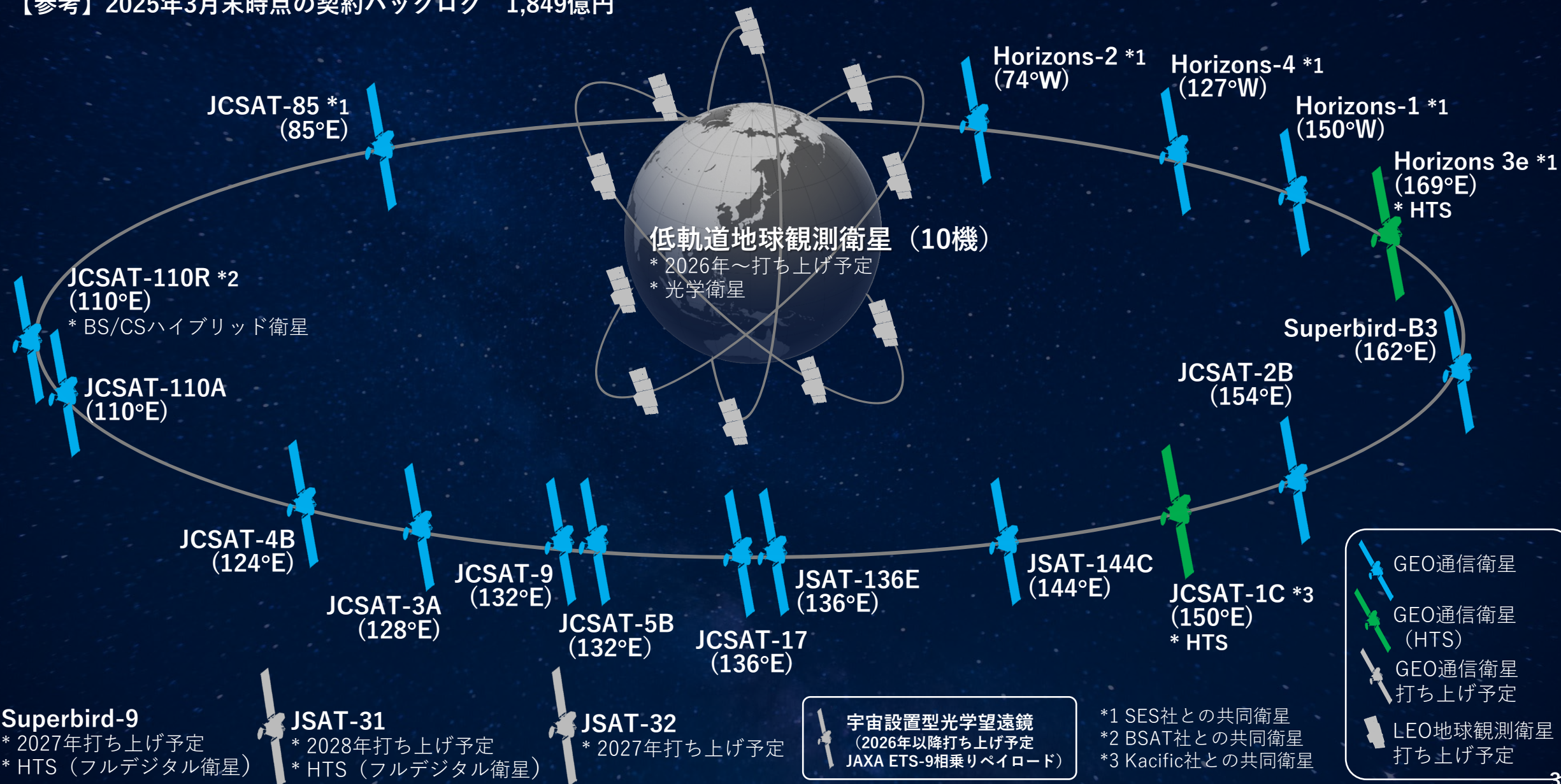
* 2026年3月期第1四半期より、集計方法を変更しており、2025年3月期の各数値についても再集計しています。
この結果、2025年3月期におけるSAC総額の通期実績は、集計方法の変更前と比較して37百万円減少しています。

衛星フリート

(2026年1月末時点)

北米上空からインド洋上空まで 計17機 のGEO通信衛星を保有

【参考】 2025年3月末時点の契約バックログ 1,849億円

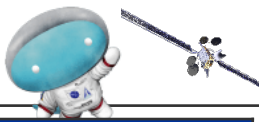


保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機（2026年1月末時点）

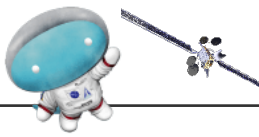
衛星		軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日（JST）	打ち上げロケット	主要なカバーエリア・搭載ビーム	主な利用用途
Horizons-1	※1	西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: 北太平洋、北米	通信
JCSAT-9		東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: ー C: ー	通信
JCSAT-3A		東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア C: アジア、ハワイ、ロシア	通信/放送
Horizons-2	※1	西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 北米	通信
JSAT-136E （旧Superbird-C2）		東経136度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本 C: ー	通信
JCSAT-5B		東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本 C: アジア、ハワイ、ロシア東部	通信
JCSAT-85	※1	東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: West IOR, East IOR	通信
JCSAT-110R	※2	東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本	放送
JCSAT-4B		東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	通信/放送
JCSAT-2B		東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本、アジア、パシフィック C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	通信
JSAT-144C （旧JCSAT-16）		東経144度	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本	通信
JCSAT-110A		東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、インド洋、オセアニア	放送
Superbird-B3		東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、可動ビーム	通信
Horizons 3e	(HTS) ※1	東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: アジア、パシフィック C: ゲートウェイビーム	通信
JCSAT-1C	(HTS) ※3	東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: アジア、パシフィック、ロシア、HTS Ka: HTS Gateway	通信
JCSAT-17		東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane 5（Arianespace）		通信
Horizons-4	※1	西経127度	Maxar 1300	2023年8月3日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 北米、太平洋	通信

※1 SES社との共同衛星／※2 BSAT社との共同衛星／※3 Kacific社との共同衛星

直近の主なニュースリリース



日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2026年02月03日	2026年1月末現在 加入件数について
2026年02月02日	スカパーＪＳＡＴ、宇宙から“地球の熱”を見える化 熱赤外衛星画像データの日本国内販売を開始～国内民間事業者初、独 constellr GmbH社の画像データを販売～
2026年01月28日	スカパーＪＳＡＴ、SpeQtralへの資本業務提携を決定～衛星量子暗号通信技術による、次世代の超秘匿通信サービス開発を加速～
2026年01月27日	新会社設立に関するお知らせ - 防衛省「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」を受託予定の特別目的会社を設立 -
2026年01月26日	スカパーＪＳＡＴ、NASA月探査計画「アルテミスII」の地上局に選定～アジアの民間企業で唯一、有人月探査ミッションを地上から支援～
2026年01月22日	国内初統合型ラジオマスターによる構造課題解決へ -スカパー東京メディアセンターでの検証に成果-
2026年01月07日	組織変更および執行役員人事のお知らせ
2026年01月06日	2025年12月末現在 加入件数について
2025年12月25日	スカパーＪＳＡＴ、日本の防衛力強化へ - 防衛省の「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」を落札 -
2025年12月22日	当社子会社の組織変更及び役員人事のお知らせ
2025年12月11日	Space CompassとHellas Sat、衛星間光通信ネットワークの相互接続に向けた覚書を締結～国境や事業者の枠を超えた「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」構築を加速～
2025年12月08日	スカパーＪＳＡＴ、SpaceXと共に宇宙通信の未来へ！次世代衛星『JSAT-31』『JSAT-32』打ち上げ契約を締結
2025年12月02日	2025年11月末現在 加入件数について
2025年11月28日	格付変更（格上げ）に関するお知らせ株式会社日本格付研究所の評価が「A+」へ格上げされました
2025年11月27日	スカパーＪＳＡＴ、JAXA先進レーダ衛星「だいち4号」（ALOS-4）観測データ・サービス事業者に選定～高頻度・高精度データでインフラモニタリングサービス「LIANA」を強化～



■ 中核事業会社「スカパー」SAT株式会社」を吸収合併

持株会社と事業会社の二重構造を解消

組織運営体制の効率化

意思決定の迅速化

■ 「株式会社スカパー」SATホールディングス」から 「スカパー」SAT株式会社」に商号変更

＜放送法等に関する外資規制を受けることに伴う定款の変更＞

- ・ 外国人等の議決権割合が1/3以上を占める場合は、株主名簿への記載又は記録を制限できる
- ・ 株主名簿に記載又は記録されなかった株式に対しても剰余金の配当を可能とする

2025年5月14日ニュースリリース：完全子会社（スカパー」SAT株式会社）の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関する基本方針決定並びに商号変更及び定款一部変更に関するお知らせ

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJ S A Tホールディングス 広報IR部

TEL : 03-5571-1515、FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp



IRニュース

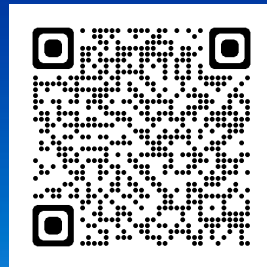
https://www.skyperfectjsat.space/ir/ir_news

メール配信サービスはこちらよりご登録ください

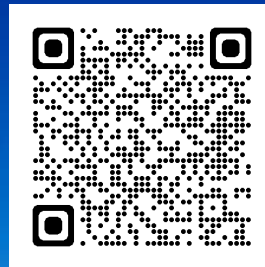
<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を電子メールでお届けします

X



LinkedIn



YouTube

